

海を身近に感じる人が減っている今
「海を伝える人」が必要です

海洋学習 指導者養成講座



福岡県北九州市にて開催



海を活かした学びの場をつくろう

福岡県北九州市は、1960年代、工業化に伴う海洋汚染で「死の海」と呼ばれた洞海湾を、市民・行政・企業の連携により復活させ、環境再生都市として世界的な注目を集めています。しかし一方で、現在の北九州市は沿岸域の藻場枯れや海岸漂着ゴミなど、新たな海洋環境課題に直面しています。

海を身近に感じる人が減っている今、あらためて海について学び、海を伝え守る活動をはじめませんか？ 海や環境問題に関心のある方、企業・団体でSDGsに取り組む方、地域活動や社会教育に関心ある方など広く募集します。

2025年

1/25 土

10:00~17:00

参加費 4000円 (税込)

定員 30名

講師

高田 浩二 氏

博士(学術) 学芸員
海と博物館研究所 所長



海洋教育、博物館教育、地域連携教育のスペシャリスト。マリンワールド海の中道の元館長。地域資源を活かした学びの場作りの実践研究者。

内容

午前 高田氏による講義

『地球環境を創った海藻が再び地球を救う』

- ・ 森・里・川・海の繋がりとは？
- ・ 身近な海洋環境「藻場」の役割や危機とは？

『地域の教育資源活用と海の力を借りた学び』

- ・ 海をテーマにどのような企画ができるのか？

午後 ワークショップ

『海洋学習教材LAB to CLASSの体験と活用』

- ・ 明日から使える体験型海洋学習教材のレクチャー
- ・ 海を伝える、海を守る活動をはじめするには？



主催

海的环境教育NPO bridge



<https://lab2c.net>

海でも、海に行かなくてもできる！
無料で使える海洋学習教材サイト運営中
全国各地の海洋自然研究者やフィールドワーカーと連携して、海を学ぶ場をつくる海的环境教育NPOです。ただいま北九州版の海洋学習教材を制作中！

会場

タカミヤ環境ミュージアム



JRスペースワールド駅から徒歩5分
北九州市の環境再生の歴史を学べる施設
洞海湾の公害克服の歴史や、世界の環境問題、身の回りのエコ活動や市民・企業の環境への取り組みなどを「見て・触れて・楽しみながら学べる」場所。

海を守れ！海洋環境保全アクションを起こす市民の輪プロジェクト
海洋学習指導者養成講座 in 北九州
主催：海的环境教育NPO bridge、海洋学習教材サイトLAB to CLASS
後援：北九州市、北九州市教育委員会
協力：若築建設株式会社、わかちく史料館
※本事業は真如苑「環境保全・生物保護 市民活動助成 “地球・自然・いのちへ”」と、東京コミュニティ財団「ファンダクション基金」の助成を受けて実施します。

申し込み
締め切り
1/13 月
まで

お申込み
お問合せ

海的环境教育NPO bridgeホームページの専用フォームよりお申し込みください

☎ 070-5274-6262

担当者
やぎざわ

海的环境教育NPO bridge



メール umi.kitakyu@gmail.com ホームページ <https://npo-bridge.org>

詳細は
こちら→

